



信大生が考える 若槻地区の公共施設の将来像



信州大学工学部建築学科 羽藤研究室

既存公共施設の活用案 ～2つの拠点から考える若槻地区のまちづくり～

これまでのWSで意見が多かった「子供」、「交流」というテーマを尊重しながら、若槻地区内で利用できそうな建物（空き教室や空き家）を可能な限り活用し、現在ある建物の機能を分散させたり、複合させたりすることで、若槻地区の人々が生き生きと暮らすことを目的とした施設の再編成再配置の提案です。

◎若槻地区に2つの拠点を作る

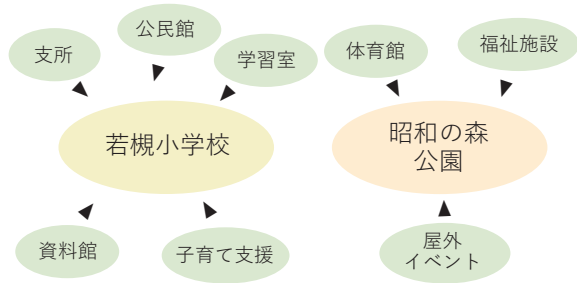
現状の空きスペースを活用しながら
文化と運動の拠点を つくる



文化：若槻小学校 北校舎 運動：昭和の森公園
支所、公民館の機能を移転 体育館の機能の移転



複合化された施設は多目的に活動が行われ
世代を越えた交流と教育が生まれ
若者が生き生きと暮らすことができる



文化の拠点 - 若槻小学校 北校舎 -



画像データ ©2018 Google、ZENRIN
赤線で囲まれた部分が計画部分

○行われる活動内容

- ・ まちの資料館
- ・ 屋内のサークル活動
- ・ 児童センター
- ・ 図書館兼自習室 など

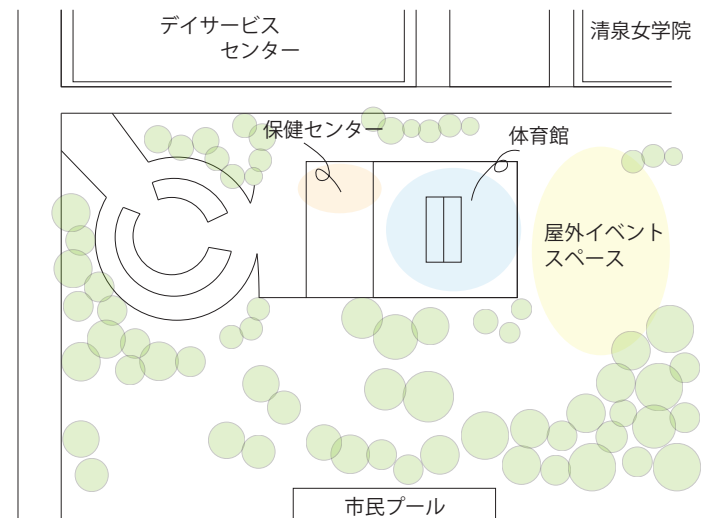
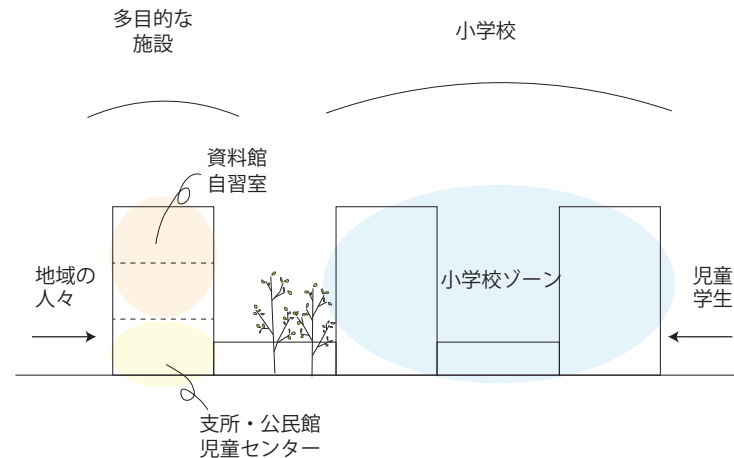
運動の拠点 - 昭和の森フィットネスセンター -



画像データ ©2018 Google、ZENRIN
赤線で囲まれた部分が計画部分

○行われる活動内容

- ・ フリーマーケット
- ・ 屋外のサークル活動
- ・ 音楽イベント
- ・ 福祉施設 など

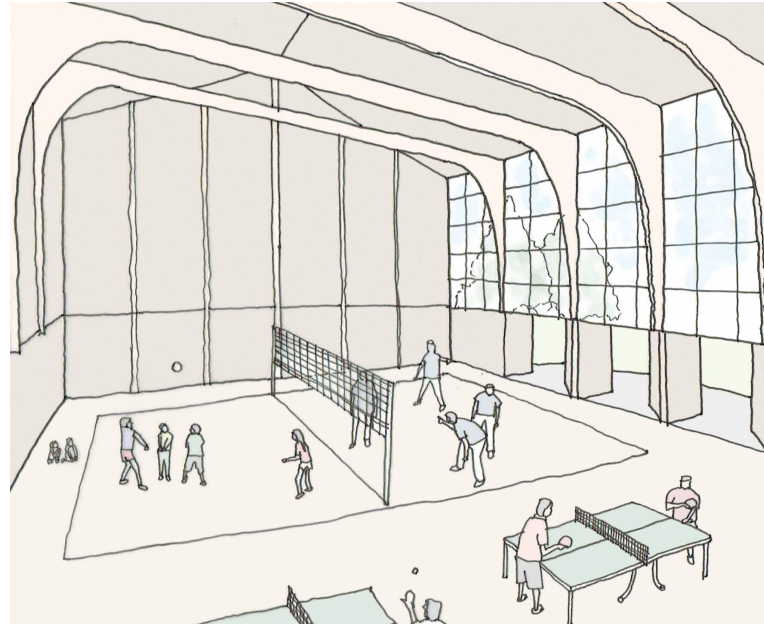


若槻小学校 北校舎のイメージスケッチ



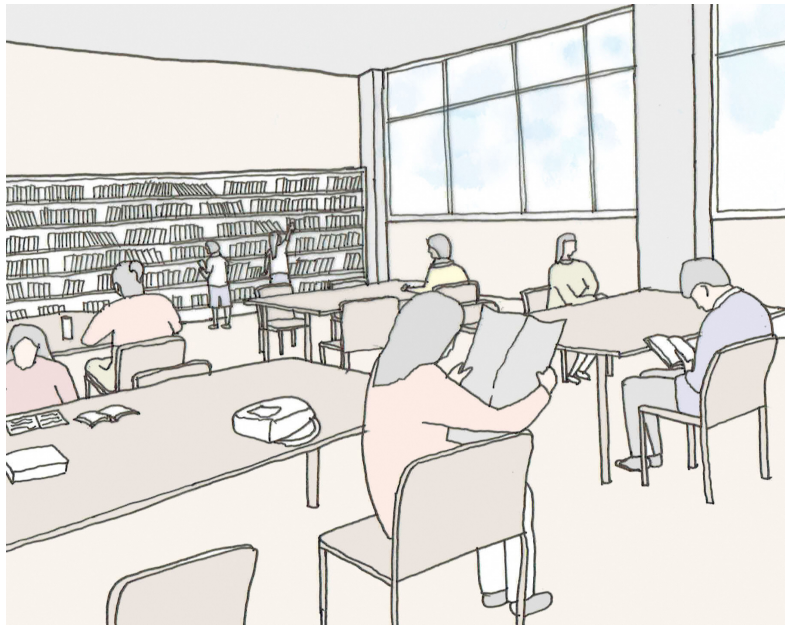
小学校の1階部分に
支所を移設

昭和の森公園のイメージスケッチ

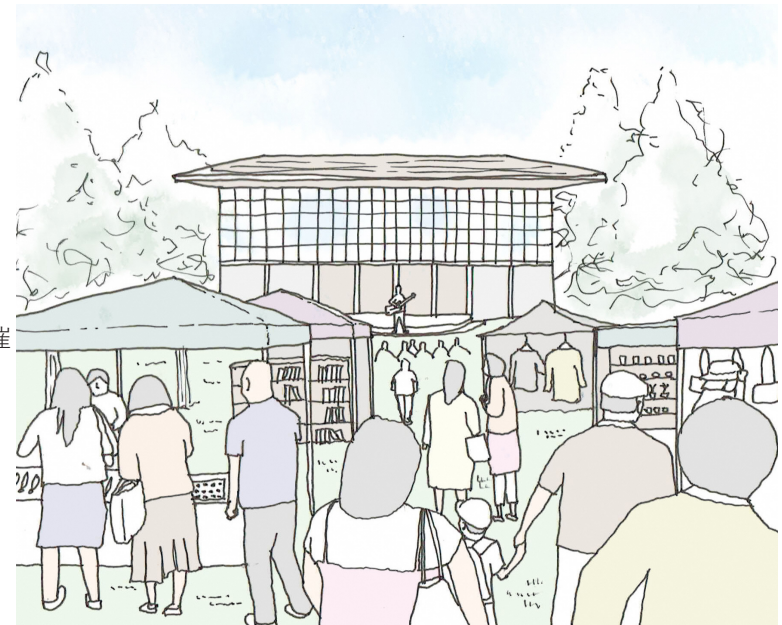


スポーツを通じて
世代間交流

住民も利用可能な
自習スペース



広場では地域の
フリーマーケットを開催



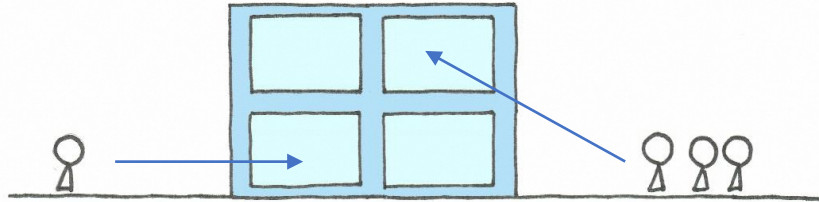
民間資本を利用した移転改築案

大通りに面した場所へ支所を移転し、民間資本を利用することでより使いやすくすることを目的とした提案です。それによって施設を中心として賑わいが生まれ、コミュニティを活性化させます。

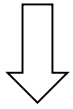
《民間運営・複合化》

現状

- ・利用する機会が少ない
- ・利用者が限られている
- ・交通の便が悪い



ひとつの利用のだけに訪れる
→不便を感じ、利便性のいい
施設を優先する



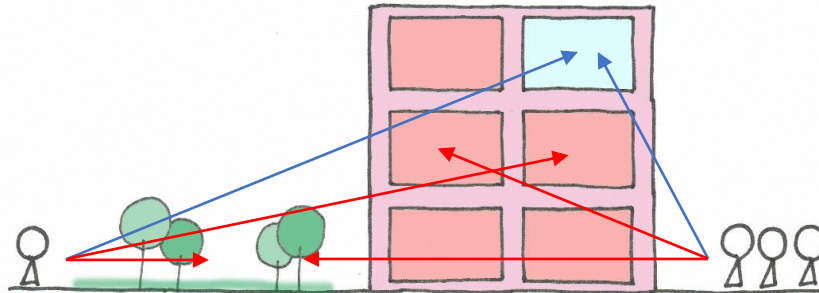
提案

《移転改築》

- ・施設へのアクセスの向上

《民間運営・複合化》

- ・様々な機能をもつことで施設の利便性の向上
- ・民間が所有・運営し、一部を借りることでコストを削減



複数の目的をもって訪れる
→利用しやすく利用者が増える
ことで、賑わいが生まれる

《移転改築》



大通りに面した場所を移転先とした

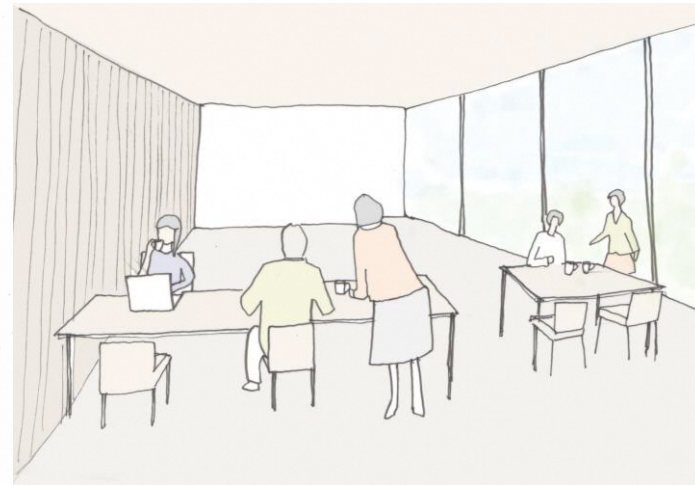
○提案施設のイメージ

○イメージスケッチ



画像データ©2018 Google,ZENRIN

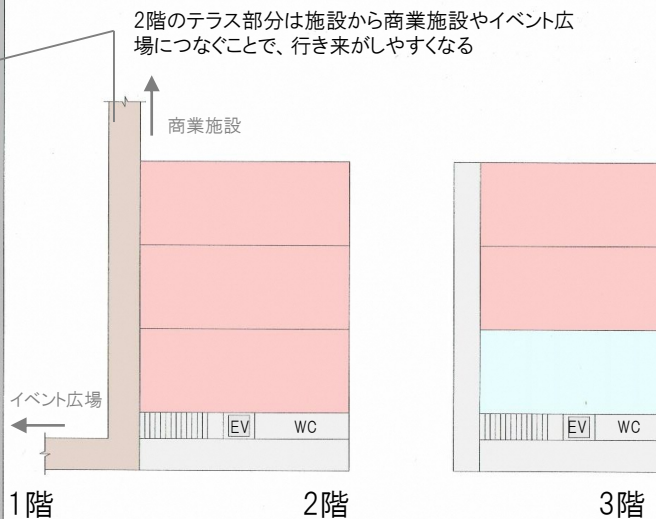
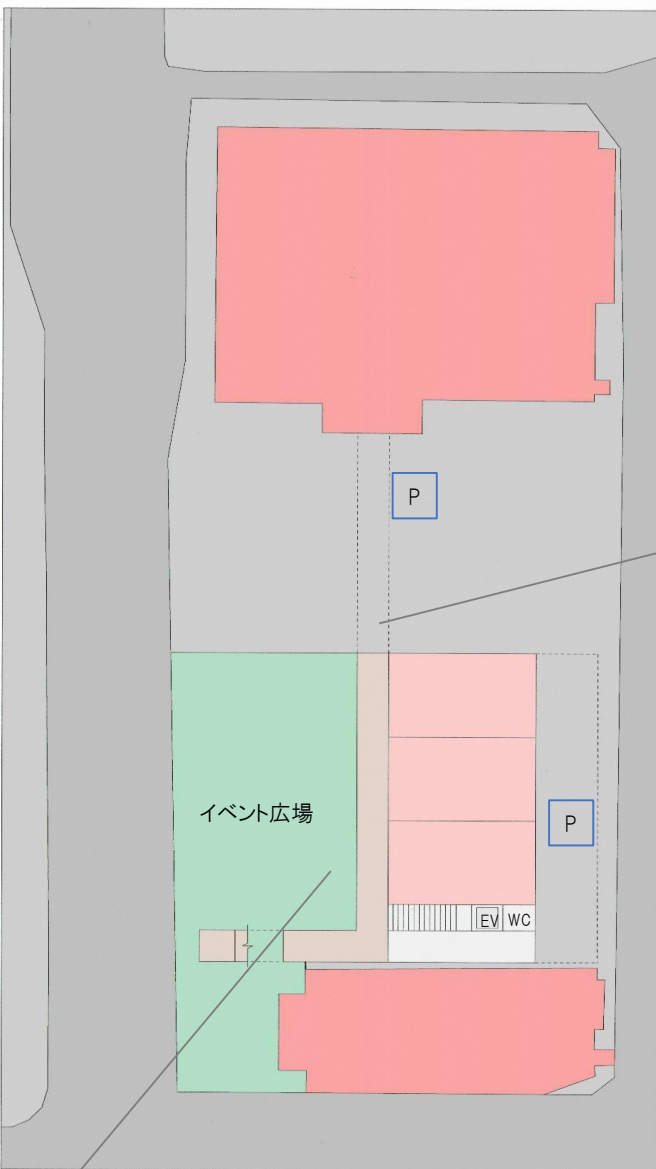
赤色の部分が移転改築場所



立ち寄れるカフェテリア



イベントや交流のできる広場



- 民間施設・・・カフェテリア, 居酒屋, 雑貨店など
- 公共施設・・・支所, 貸会議室

1階の店舗からデッキを通り、イベント広場へと出ることができる
民間と協力して開催するイベントは地域交流の活性化につながる

注)「移転場所」については、土地所有者など関係の皆さまの御了承なく掲載しております。
関係の皆さまには、御容赦いただきますようお願いいたします。